

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 055	提案機関名 山北町環境課
<b>要望問題名</b> 有効なヤマビル被害対策方法の研究について	
<b>要望問題の内容</b> 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 【背景・内容】 現在、山北町の玄倉地区ではヤマビルの生息数が拡大しております。平成25年度と平成27年度にヤマビル研究会と山北町のヤマビル対策主管課が生息数調査を行い、年度ごとと比較したところ生息数拡大を確認できました。また、平成25年度は生息を確認できなかった神縄地区においても確認できました。そのため、生息域拡大も起きております。この地域でのヤマビルの生息拡大が起きる主な背景としては、里山であり日が当たりづらくヤマビルが好む環境であるため、また、ヤマビルの生息域拡大を引き起こす媒体である野生鳥獣が、多数生息するためと考えられます。現在行っている山北町の対策としては、山北町が所有する施設(丹沢森林館周辺)の草刈、落葉掻き等の環境整備及びヤマビル駆除剤散布と、被害を受けている自治会へのヤマビル駆除剤の配布を行っております。また、ヤマビル生息域拡大を抑止するために、獣害防止柵の補修も行いました。しかし、依然としてヤマビルの生息数及び地域の拡大が起きているのが現状です。 そのため、さらなる拡大を防ぐために要望いたします。 【対象地域及び規模】 対象地域：玄倉地区・・・山北町の中で、最も被害を受けている地区のため。 規模：32ha	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター   ②畜産技術センター   ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	自然環境保全センター	<b>担当部所</b>	研究企画部研究連携課
<b>対応区分</b>	①実施   ②実施中   ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済   ⑤調査指導対応   ⑥現地対応   ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) ヤマビル対策共同研究(H19～20年度で県の5試験研究機関、大学、民間の共同により政策課題研究事業で実施)			
<b>対応の内容等</b> 効果的効率的なヤマビル対策に取り組むために、生息域や生息環境の調査、薬剤効果と環境影響調査、茶園等農耕地の管理方法や防除技術の検証を行い、得られた知見を個人での対策、地域での対策、広域的な対策として取りまとめました。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
<b>備考</b>			